

事務事業名	市立病院運営事業		会計	病院事業	実施区分	継続		
H29作成課等名	経営企画課	H29係等名	事業種別	政策	開始	終了		
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	施策	32	医療の充実					
目的	対象(誰・何を)	二次医療圏(飯田下伊那地域)の住民及びその他の飯田市立病院利用者			指標名及び単位	28年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	当地域の医療圏において適正な医療が受けられる			対象指標	飯田市及び下伊那郡の住民(人口)		
	向上させたい上位施策の成果指標	必要な医療が受けられると感じる市民の割合					160827	
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	患者満足度調査 外来患者満足度		90	94.3	90	92.7	
	成果指標	患者満足度調査 入院患者満足度		90	93.5	90	94.2	
	定性目標							
事業概要	二次医療圏(飯田下伊那)の中核病院として、地域医療の充実に取り組む。							
	病院の概要 一般病床403床 感染症病床4床 診療科目 32科 医師数111名(研修医含む) 職員総数960名(臨時職員含む)(H29.4.1現在) 中核病院及び公立病院としての取組 患者中心の医療を実践 診療体制の充実(医師・看護師等の充実、救命救急医療の体制整備、高度医療の充実、産科体制の充実) 医療安全の確保、病院の健全経営、がん診療連携拠点病院としての取組、医療機関の連携推進							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	中核病院として、地域医療の確保と医療水準の向上を進め、安全・安心で良質な医療を提供する 1 診療体制の充実、医療安全の確保、がん診療、救急医療、産科医療の充実 2 患者中心の医療の実践 3 地域医療連携の推進 4 職員が誇りを持って働ける職場づくり 5 健全経営の推進 6 防災・災害対策の強化 7 市立病院新改革プランの策定			外来患者数 入院患者数 救急車受入件数 分娩件数		228,432人 113,747人 3,250件 1,242件		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		13,804,091	15,751,683	14,401,150	633,920	・(国)臨床研修等補助金 ・(県)がん診療連携拠点病院補助金ほか ・病院事業債 充当率100% ・一般財源は一般会計からの繰入金及び出資金 ・27→28 繰越額 190,210千円 ・28→29 繰越額 633,920千円 (病院事業については、事業費に人件費を含んでいる。)		
国庫支出金		16,643	20,000	11,899				
県支出金		35,949	36,600	36,320				
起債		513,700	1,100,300	614,100	321,300			
その他		11,784,949	13,279,283	12,423,331	312,620			
一般財源		1,452,850	1,315,500	1,315,500				
人件費計(千円)②		0	0	0	0			
正規職員所要時間								
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		13,804,091	15,751,683	14,401,150	633,920			
事業内容・目標達成状況の振り返り		平成28年度は延べ入院患者数、救急車受入件数、分娩件数とも増加し、医業収益が27年度と比較し増加したが、医業費用の伸びが大きく、結果的に1億6千万円余の赤字決算となった。県が策定した地域医療構想も踏まえ、市立病院新改革プランを策定した。						
改革改善の考え方	①問題点	・他の医療機関、かかりつけ医との役割分担を明確にした体制の充実。 ・市立病院の医療の質や機能の向上。患者サービス向上。職員満足度の向上。 ・医療体制の充実を図りつつ、医業費用の圧縮と医業収益の増収を目指す必要がある。						
	②改革提案	・地域連携の推進。飯田下伊那診療情報連携システム[ism-Link]の普及。 ・医療機器等の更新、教育研修機能の充実。アンケート等から改善の実施。 ・平成28年度に策定した新改革プランの着実な実行と、健全経営のための具体的な実行計画の策定及び実施。						